



期待効果の考え方

※表中数値は仮数値

	基準値 (自己託送 実施前)			自己託送 実施時		
		-	-		自己託送分	不足電力分
公共施設使用電力量 (kWh/年)	10,000,000	6,000,000	4,000,000	10,000,000	6,000,000	4,000,000
基礎排出係数 (t-CO2/kWh)	0.000450	0.000450	0.000450	-	0	0.000241
CO2排出量 (t-CO2)	4,500	2,700	1,800	964	0	964
排出削減量 (t-CO2)	-	-	-	3,536	2,700	836

排出量削減ポイント①「排出ゼロ電力の直接供給」

排出量削減ポイント②「低係数電力の選択」

清掃工場電力の地消価値を定量化するとともに、
低排出係数電力の活用による削減効果を実証し、
電力地産地消モデルの確立を行います。

スケジュール

【実証準備】

23年 8月 ～23年10月	23年11月	23年12月 ～24年3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 自己託送供給先の候補選定 ● 自己託送量、CO2・電力コスト削減のシミュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己託送供給先の検討 ● 実施決定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己託送開始準備 (送配電会社・当社との契約手続き等)

【実証】

(実証初年度) 24年 4月 ～25年 3月	(実証2年度) 25年 4月 ～26年 3月	(実証3年度) 26年 4月 ～27年 3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 自己託送開始 ● 半年程度の運用状況を見て、次年度の供給先施設追加の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● (供給先施設を追加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己託送実証結果（初年度から2年度目の効果増含む）をまとめ ● 実証結果を踏まえた、次期取組みの検討

シミュレーション必要情報

【必要情報】

- ① 清掃工場電力の売電量〔kWh〕の30分値
- ② 清掃工場電力の売電単価〔円/kWh〕
- ③ 自己託送供給先の電力使用量〔kWh〕の30分値
- ④ 自己託送供給先の電力料金単価〔円/kWh〕と、
料金単価区分ごとの電力使用量〔kWh〕がわかるもの（電力料金請求書等）

【対象期間】

- ①～③：22年4月～23年3月
- ②・④：22年4月～23年7月